

1年生ではこんな勉強します！

Q1. 目標は？

《技術分野》

技術の見方・考え方を働かせ、ものづくりなどの技術に関する実践的・体験的な活動を通して、技術によってよりよい生活や持続可能な社会を構築する資質・能力を育成します。

Q2. どんなことを勉強するの？

毎週1回、2時間続きの授業で、前期(4月～10月)は家庭分野を、後期(10月～3月)が技術分野を学習します。授業内容は「生物育成の技術」と「材料と加工の技術」です。持ち物は教科書、技・家ノート、タブレットと筆記用具です。また、授業は実習が中心となります。

Q3. 評価は？

技術・家庭科では、授業姿勢、提出物、実習姿勢、作品や課題、定期テスト等をもとに、次の3つの観点で評価します。

① 知識・理解

- ・定期テスト
- ・提出物や作品(課題)

② 思考・判断・表現

- ・提出物や作品(課題)

③ 主体的に学習に取り組む姿勢

- ・授業姿勢
- ・提出物

学習項目

学 習 内 容

生物育成の技術

生物育成の技術の原理・法則の仕組み

- ・品種、生態等の比較をする。
- ・肥料の働きと効果の比較をする。
- ・育成環境の調節方法を知る。

生物育成の技術による問題解決

《豆苗を育てよう！》

- ・豆苗の育て方を知る。
- ・種を植える(水耕栽培)。
- ・観察、収穫をする。

社会の発展と生物育成の技術

- ・いろいろな栽培方法の工夫点や共通点を考える。

材料と加工の技術

材料と加工の技術の原理・法則と仕組み

- ・製造技術や加工技術を知る。
- ・材料や構造について学ぶ。

材料と加工の技術による問題の解決

《机上を整理するものを製作しよう！》

- ・設計をする。
- ・材料取りをする。
- ・部品加工をする。
- ・組み立てをする。
- ・仕上げをする。
- ・検査、修正をする。
- ・振り返りをする。

社会の発展と材料と加工の技術

- ・新素材や新たな加工技術が用いられた製品を、生活における必要性、価格、製造・使用・廃棄の各場面における環境に対する負荷、耐久性等の視点から調査し、利用者と開発者の両方の立場から技術の将来展望について意思決定し、発表する。

